



CLUB PROFILE

SHIZUOKA BlueRevs



BIND^{AND}TRY

MISSION

革新と情熱で、
心躍る最高の感動をつくりだす

ラグビーの世界で、最高峰にチャレンジする。
フィールドの中でも、外でも、世界と対等以上に渡り合う。
そのために、
私たちにしかできないアイデアと熱量と想いを結束し、
「最高だと思える瞬間」「心躍る感動」を
つくり続けます。

VISION

静岡から世界を魅了する、
日本一の
プロフェッショナルラグビークラブをつくる

静岡県を代表するクラブとして、
ファン・地域・パートナーとともに、
プレーのみならず、
ラグビーに関するすべての分野で世界最高峰に挑んでいきます。
『SHIZUOKA PRIDE』を胸に、
日本、世界で語り継がれる強く愛されるクラブを目指し、
ラグビー界を牽引します。

BRAND MESSAGE

BIND≡TRY

シズオカをバインドする。
シズオカでトライする。

ラグビーというスポーツを通して、
静岡を、ここに暮らすすべての人々を、
ブルーレヴズに関わる全てのステークホルダーを
繋ぎ、束ねる (BIND) ハブとなる。

フィールドの上では勝利とその先にある日本一を
静岡にもたらし、
フィールドの外でも革新と情熱で
ラグビー界に変革をもたらし、
世界最高峰に挑戦 (TRY) し続ける。

ご挨拶



静岡ブルーレヴズ株式会社
代表取締役社長

山谷 拓志

平素より静岡ブルーレヴズをご支援・ご声援いただき、誠にありがとうございます。

スタジアムで声援を送ってくださるレヴニスタの皆様。日頃からクラブを支えてくださるスポンサー・サプライヤーの皆様。

そして、自治体やメディアなど多方面にわたる関係者の皆様へ、心より御礼申し上げます。

「静岡の誇りを胸に、ラグビーを通じて心躍る感動を届ける」。この理念を実現するため、静岡ブルーレヴズは日々挑戦を重ねております。

2025-26シーズンは、クラブにとって節目となる重要な一年。昨季の悔しさを糧とし、さらなる進化を遂げる覚悟です。

新たな戦力の加入、育成の成果。

これらが融合し、チームは確実に変化を遂げています。ブルーレヴズらしいスピードと一体感で、記憶に残るプレーをお見せする所存です。

スタジアムに足を運びたくくなるような魅力づくりも強化中。熱気、迫力、一体感——現地でしか味わえない価値を、より多くの方に体験していただきたいと考えております。

皆様の声援が、選手たちの力。

その一声が、逆境を跳ね返す大きな原動力となります。歓喜と感動に満ちた一年へ。静岡ブルーレヴズは、これからも歩みを止めません。

引き続き、熱いご声援を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

ご挨拶	P3	ホストエリア活動	P11・12・13
選手・チームスタッフ紹介	P4	ラグビー普及活動	P14
PHOTO GALLERY・BRAVE BLOSSOMS	P5	アカデミー・スクール・育成	P15・16
戦績	P6	SCRUM Action ~結束の力で未来を創る~	P17
TEAM TOPICS・AWARD	P7	2024-25シーズン静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー	P18・19
エンターテインメント & ホスピタリティ	P8・9		
事業実績	P10		

(2025年7月14日現在)

COACHES & STAFF



山口 裕之
猿川 潤一郎
塩崎 太郎
村田 隆郎
内山 啓
松本 恵美子
山谷 拓志
加藤 圭太
正本 豊
西内 勇人

PHOTO GALLERY



BRAVE BLOSSOMS

2025年の日本代表活動に静岡ブルーレヴズから4選手が招集され、試合出場を果たしました。



ヴェティ・トゥポウ 選手
JAPAN XV

2025年6月28日(土)
vsマオリ・オールブラックスにて
初出場

Photo by Yuuri Tanimoto



北村 瞬太郎 選手
日本代表

2025年7月5日(土)
vsウェールズ代表にて
初出場

Photo by Yuuri Tanimoto



マロ・ツイタマ 選手
日本代表

2025年7月5日(土)
vsウェールズ代表にて
8Caps

Photo by Yuuri Tanimoto



サム・グリーン 選手
日本代表

2025年7月12日(土)
vsウェールズ代表にて
初出場

Photo by Yuuri Tanimoto

【2025年7月12日現在】

RESULTS

NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 DIVISION1

節	対戦日	対戦チーム	勝敗	スコア	会場	観客数(人)
第1節	12.21 (土)	コベルコ神戸スティーラーズ	○	15-13	ヤマハスタジアム	8,498
第2節	12.28 (土)	浦安D-Rocks	○	62-19	えがお健康スタジアム	2,603
第3節	1.4 (土)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	○	40-34	秩父宮ラグビー場	4,824
第4節	1.11 (土)	横浜キヤノンイーグルス	●	35-53	ニッパツ三ツ沢球技場	6,842
第5節	1.18 (土)	東芝ブレイブルーパス東京	○	34-28	ヤマハスタジアム	6,571
第6節	2.1 (土)	東京サントリーサンゴリアス	●	14-33	ヤマハスタジアム	6,203
第7節	2.8 (土)	リコーブラックラムズ東京	○	32-24	Jヴレッジ	1,207
第8節	2.15 (土)	トヨタヴェルブリッツ	○	33-23	岐阜メモリアルセンター長良川競技場	4,118
第9節	2.22 (土)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	●	14-62	スピアーズえどとりくフィールド(江戸川区陸上競技場)	3,908
第10節	3.2 (日)	三重ホンダヒート	○	44-14	ヤマハスタジアム	7,429
第11節	3.15 (土)	埼玉パナソニックワイルドナイツ	○	22-17	ヤマハスタジアム	5,302
第12節	3.22 (土)	リコーブラックラムズ東京	○	31-25	IAIスタジアム日本平	7,720
第13節	3.29 (土)	東京サントリーサンゴリアス	●	17-22	秩父宮ラグビー場	5,094
第14節	4.5 (土)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	○	38-8	ヤマハスタジアム	6,065
第15節	4.12 (土)	東芝ブレイブルーパス東京	○	56-26	秩父宮ラグビー場	10,097
第16節	4.27 (日)	横浜キヤノンイーグルス	○	38-28	エコパスタジアム	8,113
第17節	5.3 (土)	浦安D-Rocks	○	62-52	ヤマハスタジアム	12,406
第18節	5.10 (土)	コベルコ神戸スティーラーズ	○	29-23	ノエビアスタジアム神戸	7,991
プレーオフ 準々決勝	5.17 (土)	コベルコ神戸スティーラーズ	●	20-35	東大阪市花園ラグビー場	7,006

STANDINGS

NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 DIVISION1

レギュラーシーズン終了時点

順位	チーム	試合数	勝点	勝	分	負	得点	失点
1	 東芝ブレイブルーパス東京	18	71	15	1	2	741	480
2	 埼玉パナソニックワイルドナイツ	18	71	14	2	2	727	437
3	 クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	18	69	14	2	2	606	361
4	 静岡ブルーレヴズ	18	63	14	0	4	616	504
5	 コベルコ神戸スティーラーズ	18	51	10	0	8	642	509
6	 東京サントリーサンゴリアス	18	40	8	2	8	542	568
7	 リコーブラックラムズ東京	18	33	6	0	12	504	521
8	 横浜キヤノンイーグルス	18	30	6	0	12	518	566
9	 三菱重工相模原ダイナボアーズ	18	26	6	0	12	436	653
10	 トヨタヴェルブリッツ	18	24	4	1	13	445	617
11	 三重ホンダヒート	18	18	4	0	14	417	711
12	 浦安D-Rocks	18	14	3	0	15	465	732

プレーオフ
トーナメント
進出ライン

YEAR BY YEAR (リーグ最終順位)



第1節

2024/12/21(土)

@ヤマハスタジアム

スター精密 presents マッチデー

15-13

VS コベルコ神戸
スティーラーズ



第5節

2025/1/18(土)

@ヤマハスタジアム

山崎マシーナリー presents ボルボマッチデー

34-28

VS 東芝ブレイブ
ループス東京



第11節

2025/3/15(土)

@ヤマハスタジアム

サーラグループ presents マッチデー

22-17

VS 埼玉パナソニック
ワイルドナイツ



第12節

2025/3/22(土)

@IAIスタジアム日本平

日本軽金属グループ presents マッチデー

31-25

VS リコーブラックラムズ東京



第16節

2025/4/27(日)

@エコパスタジアム

ECOM presents マッチデー

38-28

VS 横浜キャノンイーグルス



第17節

2025/5/3(土)

@ヤマハスタジアム

大興金属 presents マッチデー

62-52

VS 浦安D-Rocks



AWARD



クワガ・スミス 選手

ベスト15



ヴァレンス・テファレ 選手

ベスト15



北村 瞬太郎 選手

新人賞

エンターテインメント & ホスピタリティ

クラブ初の3rdユニフォームは～ALL SHIZUOKAジャージ～

クラブとしては初の3rdユニフォームとなる～ALL SHIZUOKAジャージ～は、「ビューティー&ユース ユナイテッドアローズ」によるプロデュース、オフィシャルサプライヤーBLKによる製作。年に一度のIAIスタジアム日本平（静岡県清水区）でのホストゲームで着用しました。



新たなスタグルコンテンツ～レヴズ横丁～

2024-25シーズンから新たに生まれたレヴズ横丁、略してレヴ横。

今季はそれぞれにテーマを変えつつ、3試合で様々なスタジアムグルメを提供しました。



3季連続の定番“レヴシャツ”

3シーズン連続で定番となりつつあるホストゲーム最終節のギブアウェイ“レヴシャツ”。今季はモータースポーツの世界観を取り入れ、ヤマハスタジアムを青一色に染めました。



エンターテインメント & ホスピタリティ

毎試合、異なるテーマでエンターテインメントを追求した静岡ブルーレヴズらしいホストゲーム

ヤマハスタジアム・エコパスタジアム・IAIスタジアム日本平と3つのスタジアムで開催するホストゲームでは、毎試合異なるテーマで非日常空間を味わえるようなイベントや企画が満載。

また、ご来場いただいた皆様に感動と興奮を届けるエンターテインメントを追求しつつ、再びスタジアムに足を運びたいくなるようなホスピタリティの向上にもクラブ一丸となって努めております。



静岡ブルーレヴズ公式ボランティア

REV'S CREW

SHIZUOKA BlueRevs official volunteer



静岡ブルーレヴズが掲げるミッション「革新と情熱で、心躍る最高の感動を作り出す」その心躍る感動を生み出す原動力となりたい、そんな思いから「REV'S CREW」は設立されました。従来の試合会場の雰囲気以上に、親しみやすく、前向きで明るいパワーを生み出しながら、観客の皆様へ感動を提供するだけでなく、何よりも参加するボランティア自身が楽しめるボランティア活動を提供していきたいと考えています。



ホストスタジアム



ヤマハスタジアム（磐田市）

開幕戦や最終戦などもっとも多くの試合を戦うスタジアム。毎試合様々なテーマのイベントで、場外のレヴニスタ広場やキッズパークは賑わい、スタジアム内ではレヴニスタの声が響き渡り選手を後押しする。



エコパスタジアム（袋井市）

ラグビーワールドカップ2019™日本大会で日本代表が強豪アイルランド代表を破る金星を挙げた「シズオカ・ショック」の地、エコパスタジアム。日本ラグビーの歴史に大きな一歩が刻まれたこのスタジアムでも毎シーズン試合を行っています。

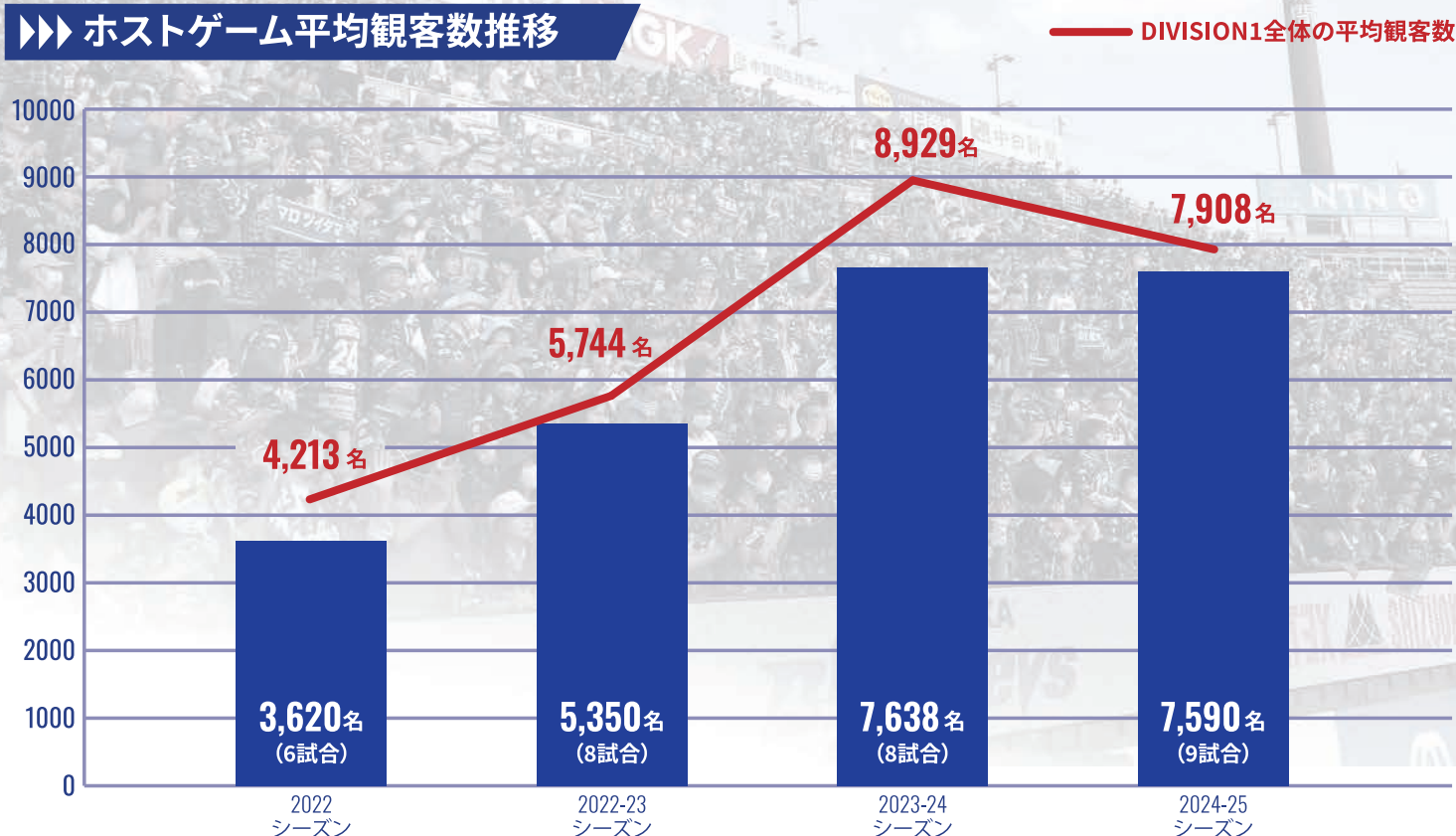


IAIスタジアム日本平（静岡市）

「ネンイチ・アイスタ」をテーマに掲げ、毎年1試合を開催。2024-25シーズンにはクラブとしては初の3rdユニフォームとなる～ALL SHIZUOKA ジャージ～を着用して試合を行った。Jリーグのベストピッチ賞を過去9回受賞した芝も魅力。

観客動員数

▶▶ ホストゲーム平均観客数推移



OFFICIAL FANCLUB CLUB REVS 会員数

(2025年5月8日現在)

2022
シーズン

11,903人

2022-23
シーズン

18,696人

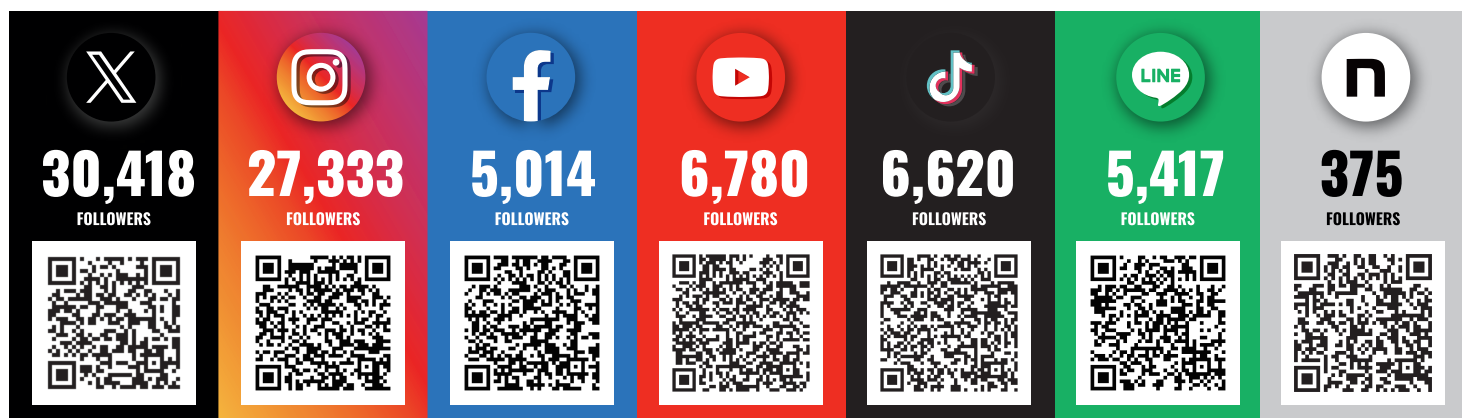
2023-24
シーズン

30,457人

2024-25
シーズン

38,874人

SNSフォロワー数



(2025年5月8日現在)

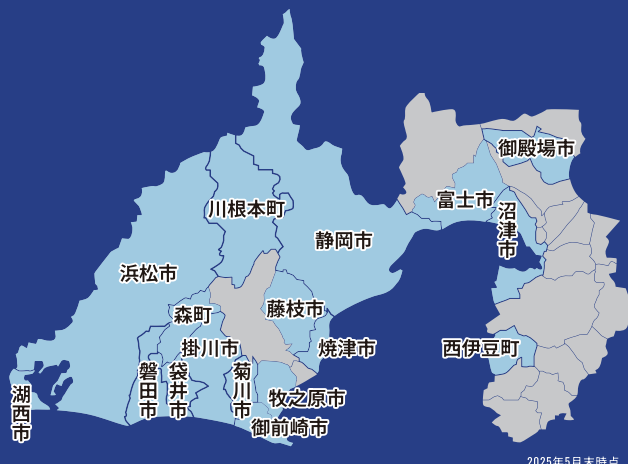
ホストエリア活動

自治体連携

静岡ブルーレヴズは、静岡県をホストエリアとし、静岡県との包括連携協定のもと、地域に根ざしたクラブ運営を行っています。加えて、県内各自治体ともパートナーシップ協定を締結し、スポーツ振興、青少年の健全育成、地域のにぎわい創出や活性化など、多岐にわたる分野での連携を進めています。

2024-25シーズンには、新たに牧之原市、森町、御前崎市、富士市、藤枝市との協定を締結し、現在では静岡県と県内17市町との協定体制となりました。

今後も地域と密接に連携しながら、クラブと地域がともに発展していけるよう、さまざまな活動を展開してまいります。



2025年5月末時点

産学連携

静岡ブルーレヴズは、ホストエリアである静岡県内の教育機関と産学連携協定を締結しています。人材育成をはじめ、地域クラブ化の支援、スポーツ関連分野における研究の協力、スポーツを通じた地域振興などに取り組んでいます。



静岡聖光学院中学校・高等学校



静岡産業大学



静岡県立清水南高等学校・同中部

具体的な取り組み

ラグビー教室の開催



牧之原市相良総合グラウンド完成式典

青少年の健全な育成とラグビーの普及を目的に、ホストタウンと連携してラグビー教室を開催しました。

広報活動への協力



静岡いわたPR大使

広報・啓発活動に様々な形で協力しています。

- ・きくがわ応援大使
- ・こさいの豚肉PR大使
- ・静岡県警察本部
「薬物乱用防止啓発ポスター」

ふるさと納税



磐田市・袋井市にて、公式戦ジャージのレプリカやドライTシャツをふるさと納税返礼品に登録しました。磐田市ではラグビーボール型のけん玉を地元事業者と開発し登録。袋井市ではエコパ開催試合の「プレイヤー・オブ・ザ・マッチ」プレゼンター権付き特別パッケージに登録しました。

ホストエリア活動

静岡ブルーレヴズ応援ポロシャツ着用

静岡県を含む13自治体にて応援ポロシャツを作成し、静岡ブルーレヴズ新シーズンの始動にあわせて県内約870名の職員有志の皆さまに一齐にポロシャツご着用いただきました。



街の装飾

ホストタウンを青く染めることで、街に彩りと活気を創出しています。



静岡市呉服町通り



JR御厨駅



浜松市鍛冶町通り

静岡ブルーレヴズサポートショップ(レヴサポ)

静岡ブルーレヴズでは、年会費無料で応援いただける「静岡ブルーレヴズサポートショップ(レヴサポ)」を募集しています。ポスターやミニのぼりの掲出で地域を青く染め、応援の輪を広げる取り組みです。2025年5月時点で137店舗が加盟中。



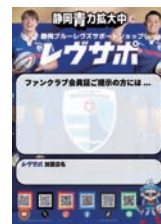
お申し込み特典(情熱コース)



ミニのぼり
(スタンド付き)



レヴサポステッカー



サービス記入用紙

加盟店一覧は
こちら▼



ホストエリア活動

静岡県民招待／市民・町民招待

ホストエリアの静岡県内にお住まいの皆様やホストタウンにお住まいの皆様をホストゲームへ無料ご招待しました。



REVSスマイルキッズPASS supported by スター精密

企業からご協賛をいただき、ホストタウンにある保育園、幼稚園、こども園、小学校、特別支援学校に通う子どもたちとそのご家族を、ホストゲームに無料ご招待しました。



磐田市内の中学2年生一斉観戦

磐田市をふるさととして誇りに想い、将来にわたって愛する気持ちを育むことを目的に、市内10校・約1,360人の中学2年生が試合を観戦しました。



PRブース出展



ホストタウンの魅力を伝えることを目的にホストゲームにてブース出展をしていただきました。

レヴズふるさとギフトタイム



ホストタウンの特産品をPRするイベントとして実施しました。イベント内で最もスタジアムを盛り上げてくださった方へ、各自治体よりご協賛いただいた特産品をプレゼントしました。

磐田南高等学校書道部書道パフォーマンス



磐田南高等学校の書道部に、今季のチームスローガン“One Step Ahead ～一歩先をいく～”の題字を執筆いただきました。またホストゲームにて書道パフォーマンスを実施しました。

REVSキャラバン supported by 大興金属



静岡ブルーレヴズが自治体等と連携しながら主体的に行うラグビー普及活動を『REVSキャラバン supported by 大興金属』と称して活動を行っております。

2024年度の当活動は、新たに冠として大興金属株式会社様、昨年度に引き続き株式会社ソミックマネジメントホールディングス様と不二化成品株式会社様のご支援のもと実施しております。引き続き、ホストエリアである静岡県全域で積極的に活動し、心躍る最高のひと時を提供していきます。



2024年度活動実績

計243回、延べ13,373人

ラグビーディスカバリー

オリパラレガシー教育推進事業、浜松市トップアスリート連携事業含む

初心者向けのラグビー体験イベント「ブルーレヴズ ラグビー ディスカバリー」

これらの活動を通じ、ラグビーや静岡ブルーレヴズの魅力を地域の皆様へ伝えています。



タグラグビー

ヤマハ発動機(株)社員を対象に健康促進や一体感醸成を目的としたタグラグビー交流会。



研修

自治体や企業を対象にタグラグビーを活用したチームビルディング研修。

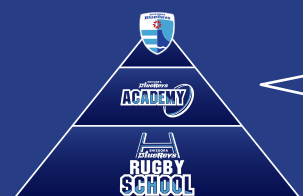


体験イベント

自治体と連携した地域でのラグビー体験イベント ※市町村主催。

アカデミー

2022年より小学5年生～中学3年生を対象に活動開始。2025年度は52名(4月末時点)の生徒が在籍。高校、大学と次のステージにつながる基本的なスキルの習得や、静岡産業大学と連携し成長のモニタリングを定期的に行いながら体作りに取り組んでいます。



育成モデル

ラグビーを通して子どもの好奇心を広げ、幅広い年代に楽しさを知ってもらう「スクール」、競技スキルを向上したいという思いを叶えるために元トップリーガーが全力でサポートする「アカデミー」を通して、世界と戦える人材を静岡から輩出していきます。

ラグビースクール

ヤマハ発動機時代を含め20年以上の活動実績。2025年度は260名(4月末時点)の生徒が在籍し、年中児から大人クラスまで幅広い年代の方がラグビーを楽しんでいます。ラグビーの技術だけでなく、ラグビーを通じた人間力の向上をサポートしています。



静岡ブルーレヴズでは、個人・団体および法人向けの寄付金募集プロジェクト<レヴズドリームファンド>を立ち上げました。いただいた寄付は、トップチームの強化・ラグビーの普及振興・社会貢献活動に充当し、当クラブのミッションの実現をさらに推し進めてまいります。複数口の寄付をいただく場合、希望オプションも割り振ることが可能です。革新と情熱で、心躍る最高の感動をクラブと共に創り出しましょう。



女子ラグビーチーム「AZALEA SEVEN」との連携



静岡ブルーレヴズ株式会社は、2023年11月に一般社団法人アザレア・スポーツクラブのゴールドパートナーとなりました。これまで以上に連携を強化しながら、ラグビーの普及活動等を行い、静岡県ラグビーの発展に貢献していきます。



BIND AND TRY



静岡ブルーレヴズ株式会社 会社概要

会社名	静岡ブルーレヴズ株式会社 (SHIZUOKA BlueRevs, Ltd.)
設立	2021年(令和3年)6月22日
資本金	1億円
株主	ヤマハ発動機株式会社(100%)
本社オフィス	〒438-0071 静岡県磐田市今之浦3-8-8
クラブハウス	〒438-0002 静岡県磐田市大久保891番地106
代表取締役社長	山谷 拓志
取締役	渡部 克明
取締役	岡本 知彦
社外取締役	鈴木 健一郎
社外取締役	和田 由佳子
従業員数	38名(2025年4月現在)
事業内容	ラグビーチームやラグビースクールの運営、 ホストゲーム興行他

お問い合わせ

静岡ブルーレヴズ株式会社 電話:0538-32-0206(平日10時~18時) メール:information@shizuoka-blurevs.com